



# Sun Management Center 3.5 ご使 用にあたって

---

Sun Microsystems, Inc.  
4150 Network Circle  
Santa Clara, CA 95054  
U.S.A.

Part No: 817-3049-10  
2003 年 7 月

Copyright 2003 Sun Microsystems, Inc. 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 U.S.A. All rights reserved.

本製品およびそれに関連する文書は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および関連する文書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。フォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

Federal Acquisitions: Commercial Software-Government Users Subject to Standard License Terms and Conditions.

本製品に含まれる HG 明朝 L、HG-MincyoL-Sun、HG ゴシック B、および HG-GothicB-Sun は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。HG 平成明朝体 W3@X12 は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun、Sun Microsystems、docs.sun.com、AnswerBook、AnswerBook2、Java、Sun Fire、Sun Enterprise、Ultra、JDK、SunSolve、Sun StorEdge は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標もしくは登録商標です。

サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャに基づくものです。Netscape™ は、米国およびその他の国における米国 Netscape Communications Corporation の商標です。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

Wnn は、京都大学、株式会社アステック、オムロン株式会社で共同開発されたソフトウェアです。

Wnn6 は、オムロン株式会社、オムロンソフトウェア株式会社で共同開発されたソフトウェアです。© Copyright OMRON Co., Ltd. 1995-2000. All Rights Reserved. © Copyright OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 1995-2002 All Rights Reserved.

「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「ATOK Server/ATOK12」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「ATOK Server/ATOK12」にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本製品に含まれる郵便番号辞書 (7 桁/5 桁) は郵政事業庁が公開したデータを元に制作された物です (一部データの加工を行なっています)。

本製品に含まれるフェイスマーク辞書は、株式会社ビレッジセンターの許諾のもと、同社が発行する『インターネット・パソコン通信フェイスマークガイド '98』に添付のものを使用しています。© 1997 ビレッジセンター

Unicode は、Unicode, Inc. の商標です。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

DiComboBox ウィジェットと DtSpinBox ウィジェットのプログラムおよびドキュメントは、Interleaf, Inc. から提供されたものです。(© 1993 Interleaf, Inc.)

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: Sun Management Center 3.5 Release Notes

Part No: 816-2718-13

Revision A



030805@5943



# 目次

---

はじめに 9

- 1 インストールに関する情報 13
  - インストールに関するバグ 13
    - インストールガイドのパッチ専用手順を実行すると、特に大きなイメージが生成される (4858591) 13
    - スクリプトを開始すると、「グループ化サービスは起動できませんでした。」または「プラットフォームエージェントは起動できませんでした。」というエラーメッセージが表示されることがある (4851517) 14
    - es-makeagent コマンドを CD イメージから実行できない (4863944) 15
  - Sun Management Center 3.5 を Solaris プラットフォームにインストールする前にパッチの適用が必要なバグ 15
    - Sun Management Center Change Manager 1.0 サーバがインストールされていると、Sun Management Center 3.0 のアップグレードやアンインストールができない (4820069) 15
  - 地域対応に関する問題 16
    - 地域対応済みの PDF 文書を Solaris 2.6、Solaris 7、または Solaris 8 オペレーティング環境にインストールできない 16
  - 地域対応に関するインストール時のバグ 17
    - Windows 98 プラットフォーム: Console、Hardware Diagnostic Suite、および Performance Reporting Manager をデフォルトの場所にインストールすると動作しない (4884908) 17
    - 地域対応済み環境で SUNWescom パッケージに関して正しくないメッセージが表示される (4840461) 18
    - 一部のアジアロケールのバイナリコードライセンスと追加条項、条件が英語で表示される (4882094) 18
    - Windows 98 プラットフォームでは Hardware Diagnostic Suite Console を簡体字中国語ロケールで使用できない (4883371) 19

es-makeagent が英語以外のロケールをサポートしない (4864504) 19  
地域対応済み環境で es-guiinst を使用すると、完全なインストールメッセージが表示されない (4841202) 20  
es-inst コマンドを使って Sun Management Center 3.5 Installation 1 of 2 CD から追加製品をインストールすると、英語以外のパッケージがインストールされない (4862856) 20  
英語以外のロケールで es-guiuninst の Uninstalled Add-On Products 要約パネルの「アドオン製品」リストに本稼働環境コンポーネントが誤って表示される (4873795) 21  
ASCII 文字を使用できないためにインストールを続行できなくなることがある (4765662) 22

## Sun Management Center 3.5 アドオン製品に関する地域対応の情報 22

Sun Management Center 3.5 アドオン製品でサポートされる言語とロケール 22

## Sun Fire 15K/12K システム、Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システム、Starfire サーバ、Sun Enterprise 6500/5500/4500/3500 システムに適用される地域対応のバグ 23

es-inst インストールスクリプトと、グラフィカルユーザインタフェースパネルに、関係のないアドオン製品が表示される (4812402) 23

エージェントアップデートを使用すると、正しくない地域対応アドオンパッケージがインストールされる (4865224) 23

## Sun Fire 15K/12K システムのバグ 23

Sun Management Center セットアップウィザードから出されるメッセージの一部が表示されないことがある (4860962) 23

## Sun Fire Link のバグ 23

パッチがインストールされていないと、Sun Fire Link Remote Shared Memory (WRSM) プロキシのコアダンプが出力される (4719746) 23

XML 構成の管理オプションを使って XML ファイルを新規のファブリックに適用すると、誤ったエラーメッセージが表示される (4855354) 24

## Sun Fire 15K/12K システムと Sun Fire Link システムに関するバグ 25

Sun Management Center 3.0 ソフトウェアを削除すると、SUNWwccmn パッケージも同時に削除される (4824529) 25

## Sun Fire 15K/12K システム、Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システム、Sun Enterprise 6500/5500/4500/3500 システムに関するバグ 25

es-validate コマンドが、更新の後に、ドメイン再構成モジュールがセットアップされていないことを示すメッセージを出力する (4857280) (4858900) 25

## 2 実行時の問題 27

### Sun Management Center 3.5 ソフトウェアのバグ 27

Sun Management Center 3.5 で Java プロセスがメッセージなしに終了する (4770335) 27

地域対応に関するバグ	28
Netscape 4.7x が簡体字中国語ロケール (zh_CN.GBK および zh_CN.GB18030) でページを正しく表示しない (4864462)	28
Netscape 4.6x が繁体字中国語ロケール (zh_TW.UTF-8) でヘルプページを正しく表示しない (4880488)	28
Web ブラウザの言語を簡体字中国語 (zh) に設定しても、Web ブラウザのコンソールが英語のままである (4863879)	28
繁体字中国語ロケールの Sun Fire Link の「ヘルプ」ボタンが間違っただロケールを指している (4856610)	28
フランス語ロケールの場合、Hardware Diagnostic Suite のボタンが途中で切れていることがある (4862340)	29
Hardware Diagnostic Suite ソフトウェアのバグ	29
JAVA_HOME パスに設定されている値が 80 文字を超えると、間違っただエラーメッセージが表示される (4854768)	29
メモリリークが少しずつ発生すると、Sun Management Center 3.5 がクラッシュすることがある (4768232)	29
Performance Reporting Manager ソフトウェアのバグ	29
Java サービスに問題が発生すると、Performance Reporting Manager がエージェントデータの収集に失敗する (4855306)	29
Performance Reporting Manager の設定中、18 文字より長いマウントポイントを持つディレクトリ名が拒否される (4856682)	30
「全ホスト」オプションを選択した場合、アラームレポートが正しくフィルタリングされない (4788475)	31
Service Availability Manager ソフトウェアのバグ	31
完全指定のホスト名を使って EService オブジェクトを作成した場合、「サービスオブジェクトの変更」ウィンドウまたは「サービスマネージャ」ウィンドウを起動できない (4852117)	31
Microsoft Windows 2000 システム上で「サービスオブジェクトの変更」ダイアログボックスに文字を入力できないことがある (4738717)	32
System Reliability Manager ソフトウェアのバグ	32
Solaris 9 オペレーティング環境では OS クラッシュダンプアナライザモジュールがサポートされない (4841420)	32
Sun Enterprise 6500/5500/4500/3500 サーバのバグ	32
構成リーダのメモリ消費量が増加する (4808821)	32
構成リーダの実行時、テープドライブエラーが表示されることがある (4846230)	32
Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システムのバグ	33
ドメイン構成リーダで若干のメモリリークが発生する (4862493)	33
電源装置が故障すると、電源装置表に黒い印が表示される (4844612)	33
Sun Fire 15K/12K システムのバグ	33

- ファイルオーバーが有効状態であるとき、システム表には黒い印が表示される (4852731) 33
- システムコントローラ上のプラットフォームエージェントにおけるメモリリーク (4860281) 33
- Sun Management Center コンソールの右側にあるパネルでプラットフォームアイコンが表示されないことがある (4864183) 34
- System Management Services が停止し、キャッシュのリフレッシュが発生すると、システムコントローラ上のプラットフォームエージェントが停止する (4822944) 34
- Sun Fire Link のバグ 34
- リンクの起動中にノードに障害が発生すると、Sun Management Center コンソールと「ファブリックの詳細」ウィンドウが凍結することがある (4857941) 34
  - Sun Fire Link Switch 構成にストライピングレベル 1 がサポートされない (4858050) 35
  - クラスタノードが停止するとき、Sun Management Center のリンク状態の更新が遅い (4644785) 35
  - 新しいファブリックが読み込まれても、Sun Fire Link のファブリック名が更新されない (4771624) 35
  - 構成したはずのノードが Sun Fire Link オブジェクトの下に表示されないことがある (4855154) 35
  - 登録済みノードの管理メニューオプションが表示されないことがある (4855259) 36
  - スイッチの物理表示または論理表示のアラームの色が表示されない (4855551) 36
  - 「ファブリックの詳細」ウィンドウの右側にスクロールバーが表示されない (4856536) 36
  - 「シャーシとリンク」表示法の「ファブリックの詳細」ウィンドウに空のグレーの四角が表示されることがある (4856884) 36
  - Fabric Manager Remote Shared Memory プロキシでメモリリークが発生する (4863270) 37
  - 経路の属性ウィンドウでデータがなくなる (4771419) 37
- Sun Fire 15K/12K システムと Sun Fire Link システムのバグ 37
- Sun Fire 15K/12K シャーシから複数のノードを同じパーティションに構成しているとき、ノードの削除に失敗することがある (4856525) 37
- Volume Systems Products (VSP) High-End Entry サーバ (ワークグループサーバ) の問題 38
- Agent Update ユーティリティでアップグレードした後、Sun Ultra 5 ワークステーションが Sun Ultra 10 ワークステーションとして認識することがある 38
- VSP High-End Entry サーバ (ワークグループサーバ) のバグ 39
- いくつかのプラットフォームタイプがオブジェクト検出メニューで利用できない (4822174) 39

3	マニュアルに関する情報	41
	マニュアルの誤り	41
	『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』の第 1 章	41
	『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』の付録 E	42
	『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』の「Sun Management Center のインストール後の作業」	44
	『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』の「T3 デバイス構成情報の削除 (存在する場合)」	44
	『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』の「Sun StorEdge A5x00 パッチ」	45
	『Sun Management Center Hardware Diagnostic Suite 2.0 ユーザーガイド』の英語のヘルプファイル名	46
	『Sun Management Center 3.5 VSP High-End Entry サーバー (ワークグループサーバー) のための追補マニュアル』の「各言語対応パッケージのインストールの準備」	46
	『Sun Management Center 3.5 ワークステーションのための追補マニュアル』の「各言語対応パッケージの更新」	47
	関係するマニュアル: 日本語、フランス語、韓国語、簡体字中国語、繁体字中国語用の各補足マニュアルは PDF ファイル形式のみ	47
	『Sun Management Center 3.5 Netra サーバーのための追補マニュアル』の第 1 章	47
	『Sun Management Center 3.5 Sun Fire 15K/12K システムのための追補マニュアル』の「CLI によるソフトウェアのアンインストール」	48
	『Sun Fire Link Fabric Administrator's Guide』の「Sun Fire Link Administration Overview」	48
	『Sun Fire Link Fabric Administrator's Guide』の付録 B 「Importing Preconfigured XML Files Using the Manage XML Configurations Option」 (4841740)	50
	『Sun Fire Link ソフトウェアインストールマニュアル』の「Sun Management Center 3.0 Platform Update 4 から Sun Management Center 3.5 へのアップグレード」	51
	『Sun Fire Link ソフトウェアインストールマニュアル』の「Sun Management Center 3.0 Platform Update 4 から Sun Management Center 3.5 へのアップグレード」	52
	『Sun Fire Link ソフトウェアインストールマニュアル』の「Sun Fire Link ソフトウェアの 1.0 から 1.1 へのアップグレード方法」	53
	『Sun Fire Link ソフトウェアインストールマニュアル』の表 3-1 の「Sun Management Center および Sun Fire Link パッケージのインストール先」	54
	『Sun Fire Link ソフトウェアインストールマニュアル』の「Sun Management Center 3.5 のセットアップウィザードによる Sun Fire Link 追加ソフトウェアの設定」	54
	『Sun Fire Link ソフトウェアインストールマニュアル』の付録 A 「CLI を使用した Sun Management Center 3.5 ソフトウェアのインストール、設定、アンインストール」	54

『Sun Fire Link ソフトウェアインストールマニュアル』の「Sun Fire Link 用エージェント更新イメージの作成」 54

『Sun Fire Link ソフトウェアインストールマニュアル』、『Sun Management 3.5 Sun Fire 15K/12K システムのための追補マニュアル』、『Sun Management Center 3.5 Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システムのための追補マニュアル』、『Sun Management Center 3.5 Starfire サーバーのための追補マニュアル』、『Sun Management Center 3.5 Sun Enterprise 6500/5500/4500/3500 システムのための追補マニュアル』の「Sun Management Center 3.5 ソフトウェアのアンインストール」 55



# はじめに

---

『Sun Management Center 3.5 ご使用にあたって』では、Sun™ Management Center 3.5 ソフトウェアのリリースまでに判明しなかったインストールに関する問題などについて説明します。また、Sun Management Center 3.5 ソフトウェアを拡張するアドオンパッケージに関するインストール時の問題などについても説明します。Sun Management Center 3.5 のマニュアルは Sun Management Center 3.5 Software 2 of 2 CD にあります。『Sun Management Center 3.5 ご使用にあたって』に含まれる情報は、Sun Management Center 3.5 Software 2 of 2 CD にある情報より優先します。『Sun Management Center 3.5 ご使用にあたって』は <http://docs.sun.com> にある Sun Management Center 3.5 Software Collection - Japanese に含まれています。

## 対象読者

このマニュアルは、Sun Management Center 3.5 ソフトウェアおよび Sun Management Center 3.5 を拡張するアドオンパッケージをインストールおよび使用するユーザーやシステム管理者を対象としています。

## 関連マニュアル

Sun Management Center 3.5 ソフトウェアをインストールまたは使用する際には、次のマニュアルを参照する必要があります。

- 『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』
- 『Sun Management Center 3.5 ユーザーガイド』
- 『Sun Management Center 3.5 Developer Environment Reference Manual』
- 『Sun Management Center 3.5 System Reliability Manager ユーザーガイド』
- 『Sun Management Center 3.5 Performance Reporting Manager ユーザーガイド』
- 『Sun Management Center 3.5 Service Availability Manager ユーザーガイド』
- 『Sun Management Center - Tivoli TEC Adaptor Installation Guide』
- 『Sun Management Center CA Integration Package User's Guide for Unicenter TNG』
- 『Sun Management Center Change Manager 1.0.1 Administration Guide』

- 『Sun Management Center Hardware Diagnostic Suite 2.0 ユーザーガイド』
- 『Sun Management Center 3.5 ワークステーションのための追補マニュアル』
- 『Sun Management Center 3.5 VSP High-End Entry サーバー (ワークグループサーバー) のための追補マニュアル』
- 『Sun Management Center 3.5 Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システムのための追補マニュアル』
- 『Sun Fire Link ソフトウェアインストールマニュアル』
- 『Sun Management Center 3.5 Sun Fire 15K/12K システムのための追補マニュアル』
- 『Sun Management Center 3.5 Sun Enterprise 6500/5500/4500/3500 システムのための追補マニュアル』
- 『Sun Management Center 3.5 Starfire サーバーのための追補マニュアル』
- 『Sun Management Center 3.5 Netra サーバーのための追補マニュアル』

---

注 - Sun はこのマニュアル内で引用するサン以外の Web サイトが使用可能かどうかについては責任を負いません。Sun は、そのようなサイトや資料から入手できる内容、広告、製品、その他について保証したり責任を負うものではありません。こうしたサイトやリソース上で、またはこれらを経由して利用できるコンテンツ、製品、サービスを利用または信頼したことに伴って発生した (あるいは発生したと主張される) いかなる損害や損失についても、Sun は一切の責任を負いません。

---

## UNIX コマンドの使用

このマニュアルは、システムの停止、システムの起動、デバイスの構成など、UNIX® の基本的なコマンドや手順については説明しません。

このような情報については、次のマニュアルを参照してください。

- 『Solaris Handbook for Sun Peripherals』
- <http://docs.sun.com> にある Solaris™ ソフトウェア環境に関するオンラインマニュアル
- システムに付属するその他のソフトウェアマニュアル

## 製品情報

この製品についての情報は、<http://www.sun.com/sunmanagementcenter> にある Sun Management Center Web サイトに掲載されています。

Sun Management Center 3.5 製品にはオープンソースソフトウェアが含まれています。オープンソースソフトウェアのライセンス条件、帰属および著作権についての記述は、次のデフォルトパスにアクセスして見ることができます。/cdrom/cdrom0/image/Webserver/Solaris\_9/SUNWtcatr/install/copyright

## Sun のオンラインマニュアル

docs.sun.com™ では、Sun が提供しているオンラインマニュアルを参照することができます。マニュアルのタイトルや特定の主題などをキーワードとして、検索を行うこともできます。URL は、<http://docs.sun.com> です。

## Sun のマニュアルの注文方法

Sun Microsystems では、精選した印刷版の製品マニュアルを提供しています。マニュアルの一覧と注文方法については、<http://docs.sun.com> の「印刷された文書の購入」を参照してください。

## 表記上の規則

このマニュアルでは、次のような字体や記号を特別な意味を持つものとして使用します。

表 P-1 表記上の規則

字体または記号	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例を示します。	.login ファイルを編集します。  ls -a を使用してすべてのファイルを表示します。  system%
<b>AaBbCc123</b>	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して示します。	system% <b>su</b>  password:
<i>AaBbCc123</i>	変数を示します。実際に使用する特定の名前または値で置き換えます。	ファイルを削除するには、rm <i>filename</i> と入力します。
『 』	参照する書名を示します。	『コードマネージャ・ユーザーズガイド』を参照してください。
「 」	参照する章、節、ボタンやメニュー名、強調する単語を示します。	第 5 章「衝突の回避」を参照してください。  この操作ができるのは、「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅を超える場合に、継続を示します。	sun% <b>grep</b> `^#define \ XV_VERSION_STRING`

コード例は次のように表示されます。

### ■ C シェル

```
machine_name% command y | n [filename]
```

### ■ C シェルのスーパーユーザー

```
machine_name# command y|n [filename]
```

- Bourne シェルおよび Korn シェル

```
$ command y|n [filename]
```

- Bourne シェルおよび Korn シェルのスーパーユーザー

```
# command y|n [filename]
```

[ ] は省略可能な項目を示します。上記の例は、*filename* は省略してもよいことを示しています。

| は区切り文字 (セパレータ) です。この文字で分割されている引数のうち 1 つだけを指定します。

キーボードのキー名は英文で、頭文字を大文字で示します (例: shift キーを押します)。ただし、キーボードによっては Enter キーが Return キーの動作をします。

ダッシュ (-) は 2 つのキーを同時に押すことを示します。たとえば、Ctrl-D は Control キーを押したまま D キーを押すことを意味します。

## 第 1 章

---

# インストールに関する情報

---

この章では、Sun Management 3.5 ソフトウェアやその拡張であるアドオンパッケージをインストールする際に起る問題について説明します。Sun Management Center 3.5 のマニュアルは、Sun Management Center 3.5 Software 2 of 2 CD に収録されています。『Sun Management Center 3.5 ご使用にあたって』に記載されている情報は、Sun Management Center 3.5 Software 2 of 2 CD の『Sun Management Center 3.5 ご使用にあたって』に記載されている情報より優先します。『Sun Management Center 3.5 ご使用にあたって』は <http://docs.sun.com> にある Sun Management Center 3.5 Software Collection - Japanese に含まれています。

Sun Management Center 3.5 Software 2 of 2 CD でこのマニュアルが提供された後に、次のインストールに関するバグ情報がこの章に追加されました。

- 17 ページの「Windows 98 プラットフォーム: Console、Hardware Diagnostic Suite、および Performance Reporting Manager をデフォルトの場所にインストールすると動作しない (4884908)」
- 18 ページの「地域対応済み環境で SUNWescom パッケージに関して正しくないメッセージが表示される (4840461)」
- 18 ページの「一部のアジアロケールのバイナリコードライセンスと追加条項、条件が英語で表示される (4882094)」
- 19 ページの「Windows 98 プラットフォームでは Hardware Diagnostic Suite Console を簡体字中国語ロケールで使用できない (4883371)」

### インストールに関するバグ

インストールガイドのパッチ専用手順を実行すると、特に大きなイメージが生成される **(4858591)**

『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』に従ってパッチイメージのディレクトリをルートレベルに作成すると、パッチ専用イメージに Sun Management Center の /sbin サブディレクトリと /lib サブディレクトリが作成されます。そのため、パッチイメージのサイズが必要以上に大きくなってしまいます。パッチ専用イメージには、本来、/sbin と /lib ディレクトリは必要ありません。

回避策: この問題を回避する方法は次の通りです。

1. マシン上に次のディレクトリ構造を作成します。

```
/disk2/image/Patches/Solaris_2.6
..                               /Solaris_7
..                               /Solaris_8
..                               /Solaris_9
```

2. パッチファイルをダウンロードし、圧縮を解除します。
3. このパッチを Solaris の適切なディレクトリに入れます。
4. イメージツールを実行します。インストールファイルのソースディレクトリを求めるメッセージに対して /disk2/image を指定します。

スクリプトを開始すると、「グループ化サービスは起動できませんでした。」または「プラットフォームエージェントは起動できませんでした。」というエラーメッセージが表示されることがある **(4851517)**

負荷の高いマシンで Sun Management Center のコンポーネントを開始すると、次のエラーメッセージが表示されることがあります。

*Component* は起動できませんでした。

さらに、特定のコンポーネントプロセスが特定の時間内に起動を開始しないと、実際にはコンポーネントが正常に起動されているにもかかわらず、この同じエラーメッセージが表示されることがあります。

この問題は、グループ化サービスの場合にも、プラットフォームエージェントコンポーネントの場合にも発生しています。

スクリプトの起動では、次のアクションが行われます。

- コンポーネントプロセスを開始します。
- *x* 秒間スリープします。
- プロセスのステータスをチェックし、成功か失敗かを報告します。

負荷の高いマシンでは、ステータスチェックの返答が間に合わないために、ステータスチェックが正しくないというエラーになることがあります。このエラーは、結果が *x* 秒以内に返されなかったために起ります。

回避策: 次の手順を行います。

1. /usr/bin/ps -eaf | grep esd コマンドを実行して、次のプロセスが動作しているか確認します。
  - エージェント
  - トポロジーサービス
  - トラップハンドラサービス
  - 構成サービス
  - イベントハンドラサービス
  - メタデータサービス
  - プラットフォームエージェント
  - プラットフォームエージェントのインスタンス

2. `/usr/ucb/ps -wwxa | grep SunMCService` コマンドを実行して、グループサービスが動作しているか確認します。
3. `/usr/ucb/ps -wwxa | grep java | grep ServerMain` コマンドを実行して、Java サーバが動作しているか確認します。
4. `/usr/ucb/ps -wwxa | grep java | grep tomcat` コマンドを実行して、Web サーバが動作しているか確認します。
5. `/usr/ucb/ps -wwxa | grep java | grep HWDS` コマンドを実行して、ハードウェアサービスが動作しているか確認します。

動作していないサービスがある場合は、マシンの負荷を減らしてから Sun Management Center の各プロセスを再起動してください。

#### **es-makeagent** コマンドを **CD** イメージから実行できない (4863944)

es-makeagent コマンドを CD または CD イメージから実行することができません。コマンドは、次のエラーメッセージを表示してからシステムプロンプトに戻ります。

es-makeagent を CD イメージから呼び出しています。

```
/var/run/tmp/SunMCInstall/sbin/es-makeagent: オプションが正しくありません -- L
```

回避策: Sun Management Center サーバがインストールされているマシンから es-makeagent コマンドを実行します。次のコマンドを使用してください。

```
# /opt/SUNWsymon/sbin/es-makeagent
```

/opt は、Sun Management Center 3.5 がインストールされているディレクトリです。Sun Management Center 3.5 がこれとは別のディレクトリにインストールされている場合は、/opt の代わりに、Sun Management Center が実際にインストールされているディレクトリの最上部の名前を指定します。

## Sun Management Center 3.5 を Solaris プラットフォームにインストールする前にパッチの適用が必要なバグ

**Sun Management Center Change Manager 1.0** サーバがインストールされていると、**Sun Management Center 3.0** のアップグレードやアンインストールができない (4820069)

Sun Management Center 3.0 サーバと Sun Management Center Change Manager 1.0 サーバがシステムにインストールされている場合は、次のどちらかの操作を行う前にパッチを適用する必要があります。

- Sun Management Center 3.0 サーバソフトウェアを Sun Management Center 3.5 サーバソフトウェアにアップグレードする。
- Sun Management Center 3.0 サーバソフトウェアをアンインストールする。

回避策: アップグレードやアンインストールの処理を行う前に、Sun Management Center 3.0 サーバソフトウェアが動作しているシステムに次のパッチのどちらかを適用します。

- Solaris 9 オペレーティング環境が動作しているシステムで Sun Management Center を使用している場合は、113106-01 を適用します。
- Solaris 8 オペレーティング環境が動作しているシステムで Sun Management Center を使用している場合は、113105-01 を適用します。

これらのパッチは、SunSolve<sup>SM</sup> Web サイト (<http://sunsolve.sun.com>) からダウンロードできます。

## 地域対応に関する問題

地域対応済みの PDF 文書を **Solaris 2.6**、**Solaris 7**、または **Solaris 8** オペレーティング環境にインストールできない

地域対応の PDF 文書パッケージの名前が 9 文字を超えています。地域対応済みの文書を Solaris 2.6、Solaris 7、または Solaris 8 オペレーティング環境が動作するシステムにインストールする場合は、このような長いパッケージ名をサポートするために適切なパッチを適用する必要があります。

回避策: 地域対応済みの PDF 文書パッケージを次の手順に従って Solaris 7 または Solaris 8 オペレーティング環境にインストールします。

---

注 – 現時点では、Solaris 2.6 サーバ用のパッチはありません。

---

1. Solaris 7 または Solaris 8 オペレーティング環境が動作するシステムにログインします。
2. SunSolve プログラムパッチサイト (<http://sunsolve.Sun.COM/pub-cgi/show.pl?target=patches/patch-access>) のページを表示します。
3. Find Patch フィールドに適切なパッチ ID を指定します (表 1-1 を参照)。

---

注 – SunSolve サイトを確認して、最新のパッチをダウンロードしてください。

---

表 1-1 Solaris 文書サーバのパッチ

オペレーティング環境	適用すべきパッチ
Solaris 7 オペレーティング環境	107332-02 (ライブラリ) 107443-14
Solaris 8 オペレーティング環境	110380-03 (ライブラリ) 110934-04

4. ダウンロードするパッチごとに「Download HTTP」か「Download FTP」をクリックします。



5. ライブラリ .zip パッチパッケージが格納されているディレクトリに移動します。
6. ライブラリパッチパッケージを解凍します。  

```
% unzip library-patch-id.zip
```
7. スーパーユーザーになります。
8. パッチを適用します。  

```
# patchadd library-patch-id
```
9. 手順 4 でダウンロードした 2 つめのパッチに対して手順 5 から 8 を繰り返します。
10. Sun Management Center 3.5 の地域対応済み PDF コレクションパッケージをインストールします。

## 地域対応に関するインストール時のバグ

**Windows 98 プラットフォーム: Console、Hardware Diagnostic Suite、および Performance Reporting Manager** をデフォルトの場所にインストールすると動作しない (4884908)

Microsoft Windows 98 プラットフォームでは、Sun Management Center 3.5 をデフォルトの場所 (C:\Program Files\SunMC) にインストールすると、Console、Performance Reporting Manager、または Hardware Diagnostic Suite の地域対応版を使用できない場合があります。

この問題は、デフォルトの場所のパス名が Microsoft Windows 98 環境で許される内部制限の長さを超えている場合に発生します。

---

注 - この制限は、インストールされている製品が英語環境だけの場合は発生しません。

---

次のエラーメッセージが表示されます。

```
Out of Environment Space
```

```
The report service is not available
```

```
Please make sure the Hardware Diagnostic Suite server is  
running on the Sun Management Center server machine.
```

回避策: このソフトウェアの地域対応版をインストールするときに、たとえば、C:\smc または C:\sunmc のように、短いパス名を指定します。

別のインストール場所を指定することに関する詳細は、『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』の「Microsoft Windows 上に Sun Management Center 3.5 をインストールする」の手順 6 を参照してください。

地域対応済み環境で **SUNWescom** パッケージに関して正しくないメッセージが表示される **(4840461)**

地域対応済み環境のインストール時にシステムが正しくないエラーメッセージを表示します。次のエラーメッセージが表示されます。

```
SUNWescom : package not found
```

このエラーメッセージは短時間だけ表示されます。

---

注 - このメッセージは c ロケールのインストール時には表示されません。

---

回避策: このエラーメッセージは無視してください。SUNWescom パッケージは正常にインストールされています。製品の機能は損なわれていません。

一部のアジアロケールのバイナリコードライセンスと追加条項、条件が英語で表示される **(4882094)**

インストール時、次のアジアロケール用バイナリコードライセンス (BCL) と追加条項、条件は英語で表示されます。

---

言語	ロケール
日本語	ja_JP.UTF-8
簡体字中国語	zh.UTF-8
繁体字中国語	zh_TW.UTF-8
	zh_HK.UTF-8
韓国語	ko.UTF-8

---

次のアジアロケールでは BCL ファイルが地域対応済みで、適切な言語で表示されま

---

言語	ロケール
日本語	ja、ja_JP.PCK
簡体字中国語	zh、zh.GBK、zh_CN.GB18030
繁体字中国語	zh_TW、zh_TW.BIG5
	zh_HK.BIG5HK
韓国語	ko

---

サポートされているすべての言語で BCL を読むには、Sun Management Center 3.5 メディアキットに含まれるライセンス (印刷物) を参照してください。

回避策: ありません。

### **Windows 98 プラットフォームでは Hardware Diagnostic Suite Console を簡体字中国語ロケールで使用できない (4883371)**

Microsoft Windows 98 ソフトウェアを簡体字中国語ロケールで実行しているシステムでは Hardware Diagnostic Suite Console は起動しません。

回避策: Microsoft Windows 98 を実行するときは、英語版のコンソールをインストールしてください。

### **es-makeagent が英語以外のロケールをサポートしない (4864504)**

es-makeagent イメージを使ってエージェントを英語以外のロケールでインストールすると、特定のロケールパッケージディレクトリが見つからないことを示す警告メッセージがインストールログファイルに書き込まれます。次はその例です。

```
Unable to find package directory for SUNWjaesi
```

es-makeagent コマンドで作成されるエージェントインストールイメージには、英語のロケールパッケージしか含まれていません。つまり、es-makeagent コマンドは、エージェントインストールイメージに英語以外のロケールパッケージを追加しません。

回避策: エージェントを英語以外のロケールでインストールする場合は、次のいずれかの方法を使用してエージェントをインストールしてください。

- Sun Management Center 3.5 インストール CD か、インストール CD イメージからエージェントをインストールします。手順の説明は、『*Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド*』の「Solaris プラットフォームに Sun Management Center 3.5 をインストールする」を参照してください。
- es-gui-imagetool ユーティリティを使ってエージェントアップデートイメージを作成します。手順の詳細は、『*Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド*』の「es-gui-imagetool を使用してエージェント更新イメージを作成する」を参照してください。  
エージェントをインストールします。手順の説明は、『*Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド*』の「agent-update.bin を使用して、エージェント更新イメージからエージェントをインストールまたは更新する」を参照してください。
- es-imagetool ユーティリティを使ってエージェントアップデートイメージを作成します。手順の説明は、『*Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド*』の「es-imagetool を使用してエージェント更新イメージを作成する」を参照してください。  
エージェントをインストールします。手順の説明は、『*Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド*』の「agent-update.bin を使用して、エージェント更新イメージからエージェントをインストールまたは更新する」を参照してください。

い。

地域対応済み環境で **es-guiinst** を使用すると、完全なインストールメッセージが表示されない (**4841202**)

es-guiinst コマンドをアジア用ロケールで実行すると、一部のスクリーンでは、インストールメッセージが不完全に表示されます。比較的大きなシステムフォントサイズを使用すると、英語ロケールでもこの問題が起ります。

回避策: ウィンドウの大きさを手動で変更するかウィンドウを最大化して、テキストを表示します。

**es-inst** コマンドを使って **Sun Management Center 3.5 Installation 1 of 2 CD** から追加製品をインストールすると、英語以外のパッケージがインストールされない (**4862856**)

es-inst コマンド行スクリプトを使って Sun Management Center 3.5 Installation 1 of 2 CD からアドオン製品をインストールしても、英語以外のパッケージはインストールされません。この問題が起るのは次の場合です。

- Sun Management Center サーバマシンかコンソールマシンに、すべての言語ロケールがすでにインストールされている。
- 後の時点で、es-inst コマンド行スクリプトを使って Sun Management Center 3.5 Installation 1 of 2 CD からサーバマシンかコンソールマシンにアドオン製品をインストールする。

次のエラーメッセージが表示されます。

```
All supported languages are installed.
```

---

注 - このバグはエージェント専用マシンでは発生しません。

---

回避策: Sun Management Center 3.5 Installation 2 of 2 CD からアドオン製品をインストールします。次の手順に従います。

1. Sun Management Center サーバとエージェントがインストールされているマシンにスーパーユーザとしてログインします。
2. Sun Management Center 3.5 Installation 2 of 2 CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
3. es-inst コマンド行スクリプトか es-guiinst コマンドを使ってアドオン製品をインストールします。
  - コマンド行インストール es-inst を使用する場合は、
    - a. 次のように入力します。

```
# /opt/SUNWsymon/sbin/es-inst -S /cdrom/cdrom0/image
```

インストールプロセスによって、使用可能なアドオン製品がチェックされます。アドオン製品のチェックが終わると、インストールされていないアドオン製品が1つずつ表示されます。そのアドオン製品をインストールするかどうかを指定します。

- b. アドオン製品をインストールする場合は *y* を、インストールしない場合は *n* を入力します。

すべての指定が終わると、選択したアドオン製品がインストールされます。

- グラフィカルインストール *es-guiinst* を使用する場合は、

- a. 次のように入力します。

```
# /opt/SUNWsymon/sbin/es-guiinst
```

「ようこそ」画面が表示されます。「次へ」をクリックすると、「インストールファイルのあるディレクトリを指定」画面が表示されます。  
Installation 2 of 2 CD が CD-ROM ドライブに挿入されているか確認します。

- b. ソースディレクトリの入力を要求されますので、次のコマンドを入力します。

```
# /cdrom/cdrom0/image
```

- c. 「次へ」をクリックします。

インストールプロセスによって、使用可能なアドオン製品がチェックされます。アドオン製品のチェックが終わると、「インストール済みの製品」画面が表示されます。

- d. 「次へ」をクリックします。

「アドオン製品の選択」画面が表示され、インストールされていないアドオン製品が列挙されます。

- e. インストールするアドオン製品を選択します。「次へ」をクリックすると、選択した製品がインストールされます。

インストールが完了すると、インストールされた製品の一覧が表示されます。Sun Management Center コンポーネントのセットアップを行うかどうかを指定します。

- 4. 選択した個々のアドオン製品のセットアップ手順については、Sun Management Center 3.5 リリースキットに含まれているアドオンの追補を参照してください。

英語以外のロケールで *es-guiuninst* の **Uninstalled Add-On Products** 要約パネルの「アドオン製品」リストに本稼働環境コンポーネントが誤って表示される **(4873795)**

*es-guiuninst* ツールを使用してアドオン製品をインストールするとき、アンインストールされたすべてのアドオンコンポーネントを表示する要約パネルが表示されます。このツールを使用して英語以外のロケールでアドオンコンポーネントをアンインストールするとき、本稼働環境がアンインストールされたアドオンコンポーネントの1つとして要約パネルに誤って表示されます。

回避策: 本稼働環境アンインストールのメッセージを無視してください。このコンポーネントはアンインストールされていません。

### **ASCII 文字を使用できないためにインストールを続行できなくなることがある (4765662)**

-display オプションを指定するか、環境変数に DISPLAY を設定することによって es-guiinst コマンドを実行し、そのウィンドウを別の X11 ディスプレイサーバに表示すると、インストールを続行できなくなることがあります。

この問題は、テキストフィールドに ASCII 文字を入力できないためと、ASCII 文字が表示されないために起ります。

回避策: この問題が起る場合は、es-inst と es-setup コマンドを使ってインストールとセットアップを行なってください。es-inst と es-setup コマンドの使用方法については、『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』を参照してください。

## **Sun Management Center 3.5 アドオン製品に関する地域対応の情報**

### **Sun Management Center 3.5 アドオン製品でサポートされる言語とロケール**

次の Sun Management Center 3.5 アドオン製品でサポートされる言語とロケールは、表 1-2 の通りです。

- Sun Fire 15K/12K システム
- Starfire サーバー
- Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システム
- Sun Enterprise 6500/5500/4500/3500 システム
- Sun Fire Link
- VSP ハイエンドエントリサーバ (ワークグループサーバ)
- デスクトップ (ワークステーション)
- Netra サーバ

表 1-2 Sun Management Center 3.5 アドオン製品でサポートされる言語とロケール

言語	ロケール
フランス語	fr fr_ FR.ISO8859-15
日本語	ja
韓国語	ko
簡体字中国語	zh
繁体字中国語	zh_TW

## Sun Fire 15K/12K システム、Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システム、Starfire サーバ、Sun Enterprise 6500/5500/4500/3500 システムに適用される地域対応のバグ

**es-inst** インストールスクリプトと、グラフィカルユーザインタフェースパネルに、関係のないアドオン製品が表示される **(4812402)**

英語以外のロケールの **es-inst** CLI インストールスクリプトとグラフィカルユーザインタフェース (GUI) パネルに、ユーザのシステムで Sun Management Center 3.5 ソフトウェアを実行する上で必要のないアドオン製品が表示されます。

回避策: ユーザのシステムで Sun Management Center 3.5 ソフトウェアを実行するために必要なアドオン製品だけを選択してください。ユーザのシステムにどの製品が関係するかについては、各アドオン製品の Sun Management Center 3.5 の追補を参照してください。

エージェントアップデートを使用すると、正しくない地域対応アドオンパッケージがインストールされる **(4865224)**

個々のアドオンコンポーネントに関連するパッケージだけがインストールされるべきであるにもかかわらず、エージェントアップデートに含まれるすべての地域対応パッケージがインストールされてしまいます。

回避策: 個々のアドオンコンポーネントごとにエージェントアップデートイメージを作成し、それぞれのエージェントアップデートを個別に実行してください。詳細は、Sun Management Center 3.5 の追補に記載されているエージェントの更新の項を参照してください。

## Sun Fire 15K/12K システムのバグ

**Sun Management Center** セットアップウィザードから出されるメッセージの一部が表示されないことがある **(4860962)**

Sun Fire 15K/12K システムの Sun Management Center セットアップウィザードで表示される次のメッセージの一部が表示されないことがあります。

プラットフォームエージェントのポート番号が変更されたため Sun Management Center のセキュリティを再生成する必要があります。

回避策: メッセージ全体は、上のテキストの通りです。

## Sun Fire Link のバグ

パッチがインストールされていないと、**Sun Fire Link Remote Shared Memory (WRSM)** プロキシのコアダンプが出力される **(4719746)**

Remote Shared Memory (RSM) のパッチ 109664-10 がシステムにインストールされていないと、Sun Management Center ソフトウェアを使って 2 ノード直接接続を設定するときに、クラスタノードにある WRSM プロキシのコアダンプが出力されます。

回避策: システムパッチ 109664-10 をインストールしてください。

**XML 構成の管理オプションを使って XML ファイルを新規のファブリックに適用すると、誤ったエラーメッセージが表示される (4855354)**

Sun Management Center コンソールの XML 構成の管理オプションを使って XML ファイルを開き、編集することができます。さらに、このファイルに含まれている任意の構成情報を未構成のファブリックに適用することができます。未構成のファブリックとは作成および起動はされているファブリックで、メンバーデータ (コンピュータノード名称など) がまだ指定されていないファブリックを指します。

---

注 - XML ファイルを開き、編集する場合、このファイルが未構成ファブリックと関連付けられていなくてもかまいません。ただし、このファイルを使ってファブリックを構成する場合には、このファブリックがあらかじめ作成、起動されていなければなりません。詳細は、50 ページの「『Sun Fire Link Fabric Administrator's Guide』の付録 B 「Importing Preconfigured XML Files Using the Manage XML Configurations Option」 (4841740)」を参照してください。

---

XML 構成の管理オプションを選択すると、2つのダイアログウィンドウが表示されることがあります。「構成」ウィンドウが1つだけ表示される場合は、構成をそのまま続けることができます。ダイアログウィンドウが2つ表示される場合は、アクティブウィンドウにエラーのラベルが、アクティブでないウィンドウに構成のラベルがそれぞれ表示されます。そして、「エラー」ウィンドウには、次のメッセージが表示されます。

FM 情報値を取得します

このメッセージは、新たに作成されたファブリック名にファブリックデータがまだ含まれていないために生成されます。このメッセージを無視し、XML 構成ファイルのインポートを続けてください。

回避策: 次の手順に従って、XML ファイルのファブリックデータを空のファブリックに適用します。

1. 「エラー」ダイアログウィンドウの「了解」ボタンをクリックします。  
「エラー」ウィンドウが閉じられ、「構成」ウィンドウがアクティブウィンドウになります。
2. 「構成」ダイアログウィンドウの「対象ディレクトリ」フィールドに、インポートしたい XML 構成ファイルが含まれているディレクトリの完全なパスを入力し、Return キーを押します。  
指定したディレクトリに含まれているファイルの一覧がウィンドウに表示されます。
3. インポートする XML 構成ファイルを選択します。選択したファイル名が「ファイル名」フィールドに表示されます。
4. 「開く」ボタンをクリックしてこのファイルを開きます。



ファイルの内容が表示領域に表示されます。ファイルの内容を変更する場合は、ここでファイルを編集できます。この内容を使ってファブリックを構成する場合は、手順 5 に進みます。

---

注 - 手順 2 で Return キーを押してから、手順 3 で、必要な XML ファイルを選択してください。ファイルを選択せずに「ファイル名」フィールドにファイル名を手動で指定することはしないでください。ファイル名を手動で指定すると、ファイルを開くことができなくなります。

---

5. 「構成」 ボタンをクリックして、XML ファイルの内容をファブリックに適用します。

## Sun Fire 15K/12K システムと Sun Fire Link システムに関するバグ

**Sun Management Center 3.0** ソフトウェアを削除すると、**SUNWwccmn** パッケージも同時に削除される **(4824529)**

Sun Management Center の `es-uninst` ツールは、Sun Fire 15K/12K システムのシステムコントローラ (SC) から **SUNWwccmn** パッケージを自動的に削除します。しかし、このパッケージには、Sun Fire Link システムソフトウェアが必要とするソフトウェア (`wcapp`) が含まれています。System Management Services (SMS) 1.3 環境では、**SUNWwccmn** パッケージが SC 上に存在しなければ `wcapp` ソフトウェアを再起動することはできません。その結果、SMS 1.3 は失敗します。

回避策: **SUNWwccmn** パッケージが SC から削除されている場合は、`pkgadd` コマンドでこのパッケージを SC に再インストールしてください。

**SUNWwccmn** パッケージは、Sun Fire Link ソフトウェア配布 CD に収録されています。詳細は、『*Sun Fire Link* ソフトウェアインストールマニュアル』を参照してください。

## Sun Fire 15K/12K システム、Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システム、Sun Enterprise 6500/5500/4500/3500 システムに関するバグ

`es-validate` コマンドが、更新の後に、ドメイン再構成モジュールがセットアップされていないことを示すメッセージを出力する **(4857280) (4858900)**

通常のセットアップ時に、セットアップスクリプトはすべてのアドオンソフトウェアをチェックし、必要ならセットアップスクリプトを実行します。しかし、動的再構成 (DR) モジュールにはセットアップスクリプトはありません。このモジュールをセットアップする必要がないからです。エージェントセットアップの後で `es-validate` スクリプトは、DR モジュールがセットアップされていないことを示すメッセージを出力します。

---

注 – バグ番号 4857280 と 4858900 はすべてのロケールに関係します。

---

回避策: `es-validate` スクリプトを実行す際に、DR モジュール向けに出力される `not set up` 状態を無視してください。

## 第 2 章

---

### 実行時の問題

---

この章では、すでに判明している実行時の問題について説明します。Sun Management Center 3.5 のマニュアルは Sun Management Center 3.5 Software 2 of 2 CD にあります。この『Sun Management Center 3.5 ご使用にあたって』に記載されている情報は、Sun Management Center 3.5 Software 2 of 2 CD の『Sun Management Center Release Notes』に記載されている情報より優先します。『Sun Management Center 3.5 ご使用にあたって』は <http://docs.sun.com> にある Sun Management Center 3.5 Software Collection - Japanese に含まれています。

Sun Management Center 3.5 Software 2 of 2 CD でこのマニュアルが提供された後に、実行時のバグに関する次の情報がこの章に追加されました。

- 28 ページの「Netscape 4.7x が簡体字中国語ロケール (zh\_CN.GBK および zh\_CN.GB18030) でページを正しく表示しない (4864462)」
- 28 ページの「Netscape 4.6x が繁体字中国語ロケール (zh\_TW.UTF-8) でヘルプページを正しく表示しない (4880488)」

#### Sun Management Center 3.5 ソフトウェアのバグ

##### **Sun Management Center 3.5 で Java プロセスがメッセージなしに終了する (4770335)**

Sun Management Center 3.5 プロセスを起動した端末ウィンドウで Ctrl+C または Ctrl+D を押すと、Java™ プロセスがメッセージを表示せずに終了します。もう一度 Java コンソールを起動しようとする、リモート例外が発生したという警告メッセージがコンソールウィンドウに表示されます。

回避策: Bourne シェルではなく、c シェルから Sun Management Center 3.5 プロセスを実行します。

## 地域対応に関するバグ

**Netscape 4.7x** が簡体字中国語ロケール (**zh\_CN.GBK** および **zh\_CN.GB18030**) でページを正しく表示しない (**4864462**)

Netscape™ バージョン 4.7x ブラウザで表示するとき、簡体字中国語ロケール (zh\_CN.GBK および zh\_CN.GB18030) のページテキストで文字化けが発生します。

回避策: デフォルトのブラウザとして別のブラウザを指定します。次のブラウザが上記のロケールで正しく動作することがわかっています。

- Netscape 6.2.2
- Netscape 7.x
- Mozilla™
- Microsoft Internet Explorer

**Netscape 4.6x** が繁体字中国語ロケール (**zh\_TW.UTF-8**) でヘルプページを正しく表示しない (**4880488**)

Netscape バージョン 4.6x ブラウザを使用するとき、繁体字中国語ロケール (zh\_TW.UTF-8) でヘルプボタンをクリックして表示されるページで文字化けが発生します。

回避策: この問題を避けるには、たとえば、Netscape 6.x 以降のブラウザのような、別のデフォルトブラウザを指定します。

**Web** ブラウザの言語を簡体字中国語 (**zh**) に設定しても、**Web** ブラウザのコンソールが英語のままである (**4863879**)

Web ブラウザの言語を簡体字中国語 (zh) に設定していても、Sun Management Center 3.5 の Web コンソールはコンテンツを英語で表示します。この動作は、簡体字中国語ロケールをインストールしている場合でも発生します。

回避策: Web ブラウザの言語を、Netscape Navigator™ の場合は zh-CN に、Microsoft Internet Explorer の場合は zh-cn に設定します。

繁体字中国語ロケールの **Sun Fire Link** の「ヘルプ」ボタンが間違ったロケールを指している (**4856610**)

繁体字中国語ロケールの場合、Sun Fire™ Link のヘルプボタンの一部が簡体字中国語で表示されることがあります。繁体字中国語ではなく簡体字中国語で表示されるヘルプページは、Manage All Partitions と Manage Registered Nodes ダイアログボックスボタンです。

回避策: 正しいヘルプページを表示するには、Fabric Details コンソール上の「ヘルプ」ボタンを使用します。Fabric Details コンソールとは、Sun Fire Link のメインとなる GUI (Graphical User Interface) のことです。

フランス語ロケールの場合、**Hardware Diagnostic Suite** のボタンが途中で切れていることがある **(4862340)**

フランス語ロケールの場合、Hardware Diagnostic Suite コンソール上の 2 つのボタンが途中で切れており、読みづらいことがあります。これらの 2 つのボタンは、「Arreter les test」と「Controle Rapide」です。

回避策: ありません。

## Hardware Diagnostic Suite ソフトウェアのバグ

**JAVA\_HOME** パスに設定されている値が **80** 文字を超えると、間違ったエラーメッセージが表示される **(4854768)**

JAVA\_HOME パスに設定されている値が 80 文字を超えると、次の間違ったエラーメッセージが表示されます。

```
Could not start Hardware service
```

回避策: このエラーメッセージは無視してもかまいません。Hardware Diagnostic Suite は正常に起動します。

メモリリークが少しずつ発生すると、**Sun Management Center 3.5** がクラッシュすることがある **(4768232)**

Hardware Diagnostic Suite コンソール経由で複数の長期間のプロセスをサーバ上で実行すると、メモリリークが少しずつ発生することがあります。このサーバ上で空きメモリがなくなると、Sun Management Center 3.5 がクラッシュして、コアダンプすることがあります。

回避策: ありません。サーバを再起動する必要があります。

## Performance Reporting Manager ソフトウェアのバグ

Java サービスに問題が発生すると、**Performance Reporting Manager** がエージェントデータの収集に失敗する **(4855306)**

15 個以上の Performance Reporting Manager レポート要求を同時に実行するようにスケジュールした場合、Performance Reporting Manager がある程度動作した後、次の問題 (1 つまたは複数) が発生することがあります。

- エージェントマシンからデータを収集できない。
- いくつかのレポート要求が実行状態のままになる。
- レポート要求を希望どおりにスケジュールできない。
- グループロギングタスクを希望どおりにスケジュールできない。
- 「レポートマネージャ」の GUI を起動できない。
- 「ジョブの管理」の GUI を起動できない。

これらの問題がある場合、「ジョブの管理」GUI を起動したときに、次のエラーメッセージがコンソールに表示されることがあります。

タスクサービスが使用できません。

また、これらの問題がある場合、「レポートマネージャ」 GUI を起動したときに、次のエラーメッセージがコンソールに表示されることがあります。

レポートサービスは使用できません。

回避策: この問題が発生したとき、サーバコンポーネントを停止および再起動する必要があります。次のコマンドを使用します。

```
# es-stop -A
```

```
# es-start -A
```

この問題を回避するには、15 個より多いレポート要求を同時に実行するようにスケジュールしないようにします。複数の要求は、ある程度の時間の余裕を持って実行するようにスケジュールすることが推奨されます。

たとえば、20 個の要求を 1 時間ごとに実行する場合、2 つの異なるバッチにそれぞれ 10 個の要求を分けます。そして、一方のバッチと他方のバッチを少なくとも 15 分開けて実行するようにスケジュールします。これらのバッチを同時に実行するようにスケジュールしてはなりません。

### **Performance Reporting Manager の設定中、18 文字より長いマウントポイントを持つディレクトリ名が拒否される (4856682)**

Performance Reporting Manager のサーバレイヤの設定中、長いマウントポイント名を持つディレクトリ名を指定できません。

たとえば、次のマウントポイントを使用したと仮定します。

```
/Sun_MC_3.5_PRM_Data
```

そして、サーバレイヤの設定中に 3 つのディレクトリを入力するように求められたときに、このマウントポイントをターゲットディレクトリとして指定すると、このディレクトリ名は拒否されます。

次のエラーメッセージが表示されます。

```
The directory must be on a local filesystem.
```

このエラーメッセージは、データファイルとして指定したディレクトリ名が 18 文字より長いマウントポイント名を持っているときだけ表示されます。

---

注 - マウントポイント名は短くディレクトリ名だけが長い場合は、この問題は発生しません。

たとえば、マウントポイント名が /PRM の場合、Performance Reporting Manager のサーバレイヤは正常に設定されます。

---

回避策: ディレクトリのマウントポイント名を 18 文字以下にします。

「全ホスト」オプションを選択した場合、アラームレポートが正しくフィルタリングされない (4788475)

「全ホスト」オプションを選択した場合、エージェントマシンに関して記録されるアラームがアラームレポート内で正しくフィルタリングされません。

「全ホスト」を選択して、フィルタを指定した場合、すべてのホストに関して記録されるすべてのアラームは指定したフィルタ条件でフィルタリングされます。フィルタリングされたアラームはレポートの出力として戻されます。さらに、このレポートには、agent not responding alarms (アラームに 응답しないエージェント) と host not responding alarms (監視されているすべてのホストのうち、アラームに 응답しないホスト) も含まれます。この 2 種類のアラームは指定したフィルタ条件でフィルタリングできません。

回避策: この問題を回避するには、アラームレポートを行うホスト名を明示的に指定します。次に示す回避方法のどちらかを選択します。

- 単一のアラームレポートを生成するとき、ホスト名を選択するには、ホスト名を「ホスト名: ポート番号」の形式で指定するか、Sun Management Center のトポロジ表示から単一ホスト名を選択します。
- 複数のホストのアラームレポートを生成するとき、ホスト名を選択するには、ホスト名を「ホスト名: ポート番号」の形式のコンマ区切りリストとして指定するか、Sun Management Center のトポロジ表示から複数のホスト名を選択します。

## Service Availability Manager ソフトウェアのバグ

完全指定のホスト名を使って **EService** オブジェクトを作成した場合、「サービスオブジェクトの変更」ウィンドウまたは「サービスマネージャ」ウィンドウを起動できない (4852117)

EService オブジェクトの作成中に完全指定のホスト名を指定した場合、そのオブジェクトが作成されます。しかし、EService オブジェクトを作成した後、Sun Management Center 3.5 GUI から「サービスオブジェクトの変更」ウィンドウまたは「サービスマネージャ」ウィンドウを起動できなくなります。

たとえば、次のように指定した場合です。

*host-name.domain*

回避策: EService オブジェクトの作成中には、ホスト名だけを指定します。ドメインは指定しません。

**Microsoft Windows 2000 システム上で「サービスオブジェクトの変更」ダイアログボックスに文字を入力できないことがある (4738717)**

Microsoft Windows 2000 システム上でバージョン 1.3.1 から 1.4.0 までの Java 実行環境を実行していると、「サービスオブジェクトの変更」ダイアログボックスのテキストフィールドに文字を入力できないことがあります。サービスタイプの値をデフォルトの HTTP から変更しようとする、ホスト名テキストフィールドとモジュールインスタンステキストフィールドに文字を入力できません。

---

注 - Java 実行環境のバージョン 1.4.1 を実行している場合、この問題は発生しません。

---

回避策: 「サービスオブジェクトの変更」ダイアログボックスを使用する前に、バージョン 1.4.1 の Java 実行環境を Microsoft Windows 2000 システムにインストールします。

## **System Reliability Manager ソフトウェアのバグ**

**Solaris 9 オペレーティング環境では OS クラッシュダンプアナライザモジュールがサポートされない (4841420)**

Solaris 9 オペレーティング環境は、System Reliability Manager アドオン製品の OS クラッシュダンプアナライザモジュールをサポートしません。

回避策: ありません。

## **Sun Enterprise 6500/5500/4500/3500 サーバのバグ**

**構成リーダーのメモリ消費量が増加する (4808821)**

いくつかの Sun Enterprise™ システムでは、時間の経過とともに、構成リーダーのメモリ消費量が増加します。

回避策: 次に示す回避方法のどちらかを選択します。

- 1 か月または 2 か月ごとにエージェントを再起動します。
- エージェントのファイルを編集して、リフレッシュ間隔を長くします。  
たとえば、`/opt/SUNWsymon/modules/cfg/Config-Reader4u-d.x` ファイルにあるシステムノードのリフレッシュ間隔を 300 秒から 900 秒にまで変更します。この変更によって、データのリフレッシュ間隔が 15 分おきになり、最高で 6 か月、エージェントを再起動せずに実行できます。

**構成リーダーの実行時、テープドライブエラーが表示されることがある (4846230)**

Sun Management Center の構成リーダーを IBM LTO テープライブラリを設置したシステム上で実行すると、一定の間隔で、次のテープドライブエラーが表示されることがあります。



Periodic head cleaning required.

回避策: このエラーメッセージは無視してもかまいません。テープライブラリと Sun Management Center ソフトウェアの動作には影響ありません。

## Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システムのバグ

ドメイン構成リーダーで若干のメモリリークが発生する **(4862493)**

ドメイン構成リーダーで若干のメモリリークが発生します。このメモリリークはドメイン構成リーダーの使用には影響ありません。

回避策: リフレッシュ間隔を長くします。

電源装置が故障すると、電源装置表に黒い印が表示される **(4844612)**

Sun Fire™ 6800/4810/4800/3800 システムの電源装置の 1 つが故障した場合、電源の供給がなくなって、プラットフォーム管理モジュールは電源装置の表示を停止します。電源装置表には黒い印が表示されます。物理表示と論理表示には、システムコントローラとファントレイだけが表示されます。これ以外のコンポーネント (システムボードや電源装置など) は表示されません。

回避策: この問題を回避するには、故障した電源装置を交換します。

## Sun Fire 15K/12K システムのバグ

フェイルオーバーが有効状態であるとき、システム表には黒い印が表示される **(4852731)**

フェイルオーバーが有効状態であるとき、システム表には黒い印が表示されます。これはシステムの状態が未確定であることを意味します。

回避策: この状態は無視してもかまいません。システムの機能には影響しません。フェイルオーバーが完了すると、黒い印は表示されなくなります。

システムコントローラ上のプラットフォームエージェントにおけるメモリリーク **(4860281)**

Sun Fire 15K/12K システムコントローラ (SC) 上でプラットフォームエージェントを実行していると、メモリリークが発生します。このメモリリークの量はごくわずかで、システムにはほとんど影響しません。

回避策: メモリリークが 10M バイトを超えるような場合、SC のプラットフォームエージェントを停止および再起動します。

### **Sun Management Center** コンソールの右側にあるパネルでプラットフォームアイコンが表示されないことがある (4864183)

Sun Fire 15K/12K プラットフォームオブジェクトを作成した後、Sun Management コンソールの右側のパネルにあるプラットフォームアイコンが表示されなくなることがあります。

回避策: 次に示す回避方法のどちらかを選択します。

- プラットフォームアイコンを使用しない場合、Sun Management Center コンソールの左側のパネルにある階層を使って移動します。
- プラットフォームアイコンを使用したい場合、次のコマンドを使用して、アイコンファイルを適切なディレクトリにコピーします。

```
# cp \  
/opt/SUNWsymon/classes/base/console/cfg/topoimages/sf15000-platform-xlarge.gif \  
/var/opt/SUNWsymon/cfg/deviceimages/Starcat-sf15000-platform-xlarge.gif
```

---

注 - 新しいファイル名は元のファイル名とは異なります。

---

### **System Management Services** が停止し、キャッシュのリフレッシュが発生すると、システムコントローラ上のプラットフォームエージェントが停止する (4822944)

システムコントローラ (SC) 上の System Management Services (SMS) が停止した後、エージェントの自動キャッシュリフレッシュ (通常は、1 時間ごとに 1 回) が発生すると、Sun Management Center のプラットフォームエージェントも停止します。このような動作が発生するのは、非常に短い間隔でプラットフォームエージェントの起動および停止を繰り返した場合だけです。

たとえば、プラットフォームエージェントを 1 分間停止して、2 分間起動すると、この動作が発生します。

回避策: プラットフォームエージェントの起動と停止の間隔を長くします。たとえば、プラットフォームエージェントを 3 分間停止して、5 分間起動します。プラットフォームエージェントが停止した場合、まず、SMS を再起動し、次に、Sun Management Center のプラットフォームエージェントを再起動します。

### **Sun Fire Link** のバグ

#### リンクの起動中にノードに障害が発生すると、**Sun Management Center** コンソールと「ファブリックの詳細」ウィンドウが凍結することがある (4857941)

クラスタを構成した後、すべてのリンクが確立する前にノードに障害が発生すると、Sun Management Center コンソールと「ファブリックの詳細」ウィンドウが凍結することがあります。

回避策: パーティションの作成中にノードに障害が発生し、「ノードの追加」ダイアログボックスの「取り消し」ボタンが機能しなくなった場合、次の手順を実行します。

1. ファブリックを停止するには、コマンド `stopfabric` に `-f` オプションを付けて実行します。

```
# /opt/SUNWwcfm/bin/stopfabric -f fabric-name
```

2. 停止したファブリックを再起動します。

```
# /opt/SUNWwcfm/bin/startfabric fabric-name
```

3. Sun Management Center コンソールからファブリックの管理を再開します。

### **Sun Fire Link Switch 構成にストライピングレベル 1 がサポートされない (4858050)**

Sun Fire Link Switch 構成にストライピングレベル 1 を選択した場合、ストライピングレベルは自動的に 2 に上がります。しかし、Sun Management Center コンソールの「ファブリックの詳細」ウィンドウでは、このレベルは反映されません。

回避策: Sun Fire Link Switch 構成にストライピングレベル 1 を選択しません。Sun Fire Link Switch 構成にストライピングレベル 1 はサポートされません。

### **クラスタノードが停止するとき、Sun Management Center のリンク状態の更新が遅い (4644785)**

「ファブリックの詳細」ウィンドウにリンク状態が表示されているとき、クラスタノードが停止すると、Sun Management Center コンソールは 1 時間以上、影響を受けたリンクの状態を更新しないことがあります。さらに、クラスタノードが復元して、リンクが確立し直しても、「ファブリックの詳細」ウィンドウにはそのリンクが停止したままであると表示されることがあります。

回避策: 「再表示」ボタンを使用して、状態の情報を手作業でリフレッシュします。

### **新しいファブリックが読み込まれても、Sun Fire Link のファブリック名が更新されない (4771624)**

ファブリックを読み込み解除して停止し、別のファブリックを異なる名前で読み込んだ場合、Sun Management Center コンソールウィンドウに表示されている Sun Fire Link (SFL) オブジェクトアイコンの名前は停止したはずのファブリックの名前のままになります。しかし、ファブリックアイコンラベルには新しいファブリックの名前が表示されます。

回避策: 停止したいファブリックを読み込み解除して停止した後、対応する複合オブジェクトを削除します。

### **構成したはずのノードが Sun Fire Link オブジェクトの下に表示されないことがある (4855154)**

正常にファブリックに構成したはずのクラスタノードが、同じファブリックの Sun Fire Link オブジェクトの下に表示されないことがあります。

回避策: ノードをファブリックに追加する前に、Sun Management Center コンソールを使用して、すべてのクラスタノードを検出しておく必要があります。ノードをファブリックに追加する前にすべてのクラスタノードを検出しておかないと、いくつかの問題が発生します。このバグは、この状況で発生する問題の1つです。

**登録済みノードの管理メニューオプションが表示されないことがある (4855259)**

Sun Management Center の「ファブリックの詳細」ウィンドウ内でマウスボタン3を押して、ファブリックアイコンのポップアップメニューを表示した場合、登録済みノードの管理メニューオプションが表示されないことがあります。

回避策: 登録済みノードの管理メニューオプションを選択するときには、ファブリックメニューを使用します。

**スイッチの物理表示または論理表示のアラームの色が表示されない (4855551)**

Sun Fire Link スイッチモジュールがアラームを発したとき、スイッチの物理表示または論理表示 (PV/LV) にアラームの色が表示されません。

回避策: 正しいアラームの色は、そのモジュールのブラウザとアラームの表に表示されます。

**「ファブリックの詳細」ウィンドウの右側にスクロールバーが表示されない (4856536)**

「シャーシとリンク」表示法の大きいアイコン表示では、「ファブリックの詳細」ウィンドウの右側にスクロールバーが表示されません。イメージが「ファブリックの詳細」ウィンドウよりも大きい場合は必ず、スクロールバーが表示される必要があります。スクロールバーがあれば、大きなパーティション内のすべてのノードを表示できます。

回避策: 「シャーシとリンク」表示法で、大きいアイコン表示を小さいアイコン表示に変更します。スクロールバーが表示されます。大きいアイコン表示に戻します。スクロールバーは表示されたままとなります。

---

注- 「シャーシとリンク」表示法から「ノードと経路」表示に変更しても、スクロールバーは表示されます。しかし、「シャーシとリンク」表示法 (の大きいアイコン表示) に戻しても、スクロールバーは表示されません。

---

**「シャーシとリンク」表示法の「ファブリックの詳細」ウィンドウに空のグレーの四角が表示されることがある (4856884)**

Sun Management Center の「シャーシとリンク」表示法では、次のような状況において、「ファブリックの詳細」ウィンドウに空のグレーの四角が表示されることがあります。

- パーティションに新たに作成したオブジェクトにスイッチを追加する前。
- ファブリックを構成解除するとき、単一のパーティションから最後のスイッチを削除した後。

回避策: 空のグレーの四角は無視してもかまいません。スイッチをパーティションに追加すると、グレーの四角にスイッチのグラフィックが表示されます。

### **Fabric Manager Remote Shared Memory** プロキシでメモリリークが発生する (4863270)

Sun Fire Link Fabric Manager Remote Shared Memory (WRSM) プロキシがカーネルシステムイベント通知デーモン `syseventd(1M)` からイベントを受信すると、メモリリークが発生します。

回避策: 各ノードで WRSM プロキシを停止および再起動します。次のコマンドを使用します。

```
# /etc/init.d/wrsm_proxy stop
# /etc/init.d/wrsm_proxy start
```

### 経路の属性ウィンドウでデータがなくなる (4771419)

ファブリックの詳細コンテキストで経路の属性データを表示しているとき、いくつかのデータが表の `To` フィールドと `From` フィールドから消えることがあります。

回避策: ありません。

## Sun Fire 15K/12K システムと Sun Fire Link システムのバグ

### **Sun Fire 15K/12K** シャーシから複数のノードを同じパーティションに構成しているとき、ノードの削除に失敗することがある (4856525)

Sun Fire 15K/12K シャーシに複数のノードを同じパーティションに構成されている場合、ノードの削除ができないことがあります。この問題は、当該パーティションにおいて、Sun Fire 15K/12K シャーシが複数のノードを持つ唯一のシャーシである場合だけに発生します。この問題の原因は、単一のシャーシから複数のノードを同じパーティションに構成するときに、メモリマッピング用エイリアスを作成する必要があるためです。このメモリマッピング用エイリアスの作成は、同じパーティションに複数のノードを構成しているシャーシごとに独自に行われます。ところが、あるパーティションからあるシャーシのノードを1つを除いてすべて削除すると、(1つのノードが残っているにもかかわらず)、そのシャーシ用に作成されたメモリマッピング用エイリアスが無効になってしまいます。次の例を考えてみてください。

- あるパーティションに3つのノードが存在すると仮定します。

`xc1-a`, `xc1-b`, `xc2-a`

ここで、`xc1` と `xc2` は2つの別の Sun Fire 15K/12K システムです。

- このパーティションから `xc1-a` または `xc1-b` のどちらかを削除すると、システム `xc1` のメモリマッピングエイリアスが無効になってしまいます。

しかし、同じパーティションに複数のノードを持つシャーシが複数存在する場合、一方のシャーシの無効なメモリマッピングエイリアスをもう一方のシャーシの有効なメモリマッピングエイリアスが補います。したがって、このパーティションは使用し続けることができます。この様子を次の例に示します。

- あるパーティションに4つのノードが存在すると仮定します。

*xc1-a, xc1-b, xc2-a, xc2-b*

- このパーティションから *xc1-a* または *xc1-b* のどちらかを削除すると、*xc1* システムのメモリマッピングエイリアスが無効になってしまいます。しかし、シャーシ *xc2* のエイリアスが有効なままとなります。したがって、このパーティションは使用し続けることができます。

回避策: 次の手順は、SunFire15K/12K の1つがある1つのシャーシに対して提供しているノード数を1に減らす方法を示します。この場合、そのシャーシは当該パーティションにおいて唯一の多重ノードシャーシです。

1. 同じパーティションに複数のノードを構成しているシャーシにおいて、そのシャーシのすべてのノードを当該パーティションから削除します。
2. 当該パーティションに入れたいノードを追加し直します。  
たとえば、あるパーティションがノード *xc1-a*、*xc1-b*、および *xc2-a* から構成されていると仮定します。ここで、*xc1* と *xc2* は2つの別の Sun Fire 15K/12K システムです。このとき、このパーティションのノードを *xc1-a* と *xc2-a* だけにしたい場合、次のようにします。
3. ノード *xc1-a* と *xc1-b* を当該パーティションから削除します。
4. ノード *xc1-a* を当該パーティションに追加し直します。

## Volume Systems Products (VSP) High-End Entry サーバ (ワークグループサーバ) の問題

**Agent Update** ユーティリティでアップグレードした後、**Sun Ultra 5** ワークステーションが **Sun Ultra 10** ワークステーションとして認識することがある

Sun Ultra™ 5 ワークステーション上でエージェントの更新ユーティリティを使用して Sun Management Center 3.5 エージェントをアップグレードすると、Sun Ultra 5 ワークステーションが Sun Ultra 10 ワークステーションとして認識することがあります。その結果、「Sun Management Center」ウィンドウでは、Sun Ultra 5 のアイコンと物理表示は Sun Ultra 10 として表示されます。

回避策: この問題を回避するには、次の手順に従います。

1. システムプロンプトで `es-stop` コマンドを使用して、Sun Management Center エージェントを停止します。

```
# /opt/SUNWsymon/sbin/es-stop -a
```

2. `/var/opt/SUNWsymon/platform` ディレクトリに移動します。

```
# cd /var/opt/SUNWsymon/platform
```

3. テキストエディタを使用して、platform.prop ファイルを編集します。
  - a. UltraModel=10 エントリを UltraModel=5 に修正します。
  - b. ファイルを保存します。
4. システムプロンプトで es-start コマンドを使用して、Sun Management Center エージェントを起動します。

```
# /opt/SUNWsymon/sbin/es-start -a
```

## VSP High-End Entry サーバ (ワークグループサーバ) のバグ

いくつかのプラットフォームタイプがオブジェクト検出メニューで利用できない  
**(4822174)**

検出要求を実行して、プラットフォームタイプ別にプラットフォームを検出および選択すると、利用できるプラットフォームがドロップダウンメニューに表示されます。このドロップダウンメニューは、「新しい検出要求」ダイアログボックスの「フィルタ」タブにあります。

しかし、このドロップダウンメニューには、次の Sun Enterprise Ultra サーバのエントリが表示されません。

- Sun Enterprise Ultra 2
- Sun Enterprise Ultra 5
- Sun Enterprise Ultra 10

回避策: これらの Sun Enterprise Ultra サーバに対して検出要求を実行する必要がある場合、手作業で要求を実行します。





## 第 3 章

# マニュアルに関する情報

---

この章では、既知のマニュアルの問題について説明します。『Sun Management Center 3.5 ご使用にあたって』に記載されている情報は、Sun Management Center 3.5 Software 2 of 2 CD の『Sun Management Center 3.5 ご使用にあたって』に記載されている情報より優先します。『Sun Management Center 3.5 ご使用にあたって』は <http://docs.sun.com> にある Sun Management Center 3.5 Software Collection - Japanese に含まれています。

Sun Management Center 3.5 Software 2 of 2 CD でこのマニュアルが提供された後に、マニュアルの誤りに関する次の情報がこの章に追加されました。

- 41 ページの「『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』の第 1 章」
- 47 ページの「『Sun Management Center 3.5 Netra サーバーのための追補マニュアル』の第 1 章」

## マニュアルの誤り

### 『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』の第 1 章

Sun Management Center 3.5 のマニュアルは <http://docs.sun.com> および製品メディアの Disk 2 から入手できます。メディアからマニュアルを読むには次の手順に従ってください。

1. Web ブラウザのウィンドウを開きます。
2. Web ブラウザのウィンドウから `/cdrom/cdrom0/image/index.html` ファイルを開きます。このファイルは Disk 2 にあります。
3. 適切なリンクを使って、必要な言語の HTML または PDF のマニュアルにアクセスしてください。

メディアからマニュアルをインストールするには、`pkgadd` コマンドを使用して、Disk 2 の次のディレクトリにあるパッケージをインストールします。

```
/cdrom/cdrom0/image/PE/CommonForSolaris/Basic
```

『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』の付録 E

『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』の付録 E には、次の各表に示す地域対応パッケージが記載されていませんでした。

表 3-1 Sun Management Center 3.5

パッケージ名	パッケージ名称
SunWfresf	Sun Management Center メッセージファイル (フランス語)
SUNWjaesf	Sun Management Center メッセージファイル (日本語)
SUNWkoesf	Sun Management Center メッセージファイル (韓国語)
SUNWcesf	Sun Management Center メッセージファイル (簡体字中国語)
SUNWhesf	Sun Management Center メッセージファイル (繁体字中国語)
SUNWfresi	Sun Management Center インストール メッセージファイル (フランス語)
SUNWjaesi	Sun Management Center インストール メッセージファイル (日本語)
SUNWkoesi	Sun Management Center インストール メッセージファイル (韓国語)
SUNWcesi	Sun Management Center インストール メッセージファイル (簡体字中国語)
SUNWhesi	Sun Management Center インストール メッセージファイル (繁体字中国語)
SUNWfresh	Sun Management Center フランス語ヘルプ
SUNWjaesh	Sun Management Center 日本語ヘルプ
SUNWkoesh	Sun Management Center 韓国語ヘルプ
SUNWcesh	Sun Management Center 簡体字中国語ヘルプ
SUNWhesh	Sun Management Center 繁体字中国語ヘルプ

表 3-2 Sun Management Center 3.5 Advanced System Monitoring

パッケージ名	パッケージ名称
SUNWfram	Sun Management Center AdvanceMonitoring Add-On Product – フランス語

表 3-2 Sun Management Center 3.5 Advanced System Monitoring (続き)

パッケージ名	パッケージ名称
SUNWjaam	Sun Management Center AdvanceMonitoring Add-On Product - 日本語
SUNWkoam	Sun Management Center AdvanceMonitoring Add-On Product - 韓国語
SUNWcam	Sun Management Center AdvanceMonitoring Add-On Product - 簡体字中国語
SUNWham	Sun Management Center AdvanceMonitoring Add-On Product - 簡体字中国語

表 3-3 Sun Management Center 3.5 TNG 統合

パッケージ名	パッケージ名称
SUNWfrcam	Sun Management Center - TNG 統合フランス語メッセージファイル
SUNWjacam	Sun Management Center - TNG 統合日本語メッセージファイル
SUNWkocam	Sun Management Center - TNG 統合韓国語メッセージファイル
SUNWccam	Sun Management Center - TNG 統合簡体字中国語メッセージファイル
SUNWhcam	Sun Management Center - TNG 統合繁体字中国語メッセージファイル

表 3-4 Sun Management Center 3.5 Tivoli TEC

パッケージ名	パッケージ名称
SUNWfrtia	Sun Management Center Tivoli TEC - フランス語
SUNWjatia	Sun Management Center Tivoli TEC - 日本語
SUNWkotia	Sun Management Center Tivoli TEC - 韓国語
SUNWctia	Sun Management Center Tivoli TEC - 簡体字中国語
SUNWhtia	Sun Management Center Tivoli TEC - 繁体字中国語

表 3-5 Sun Management Center 3.5 Storage (A5x00/T3) Module

パッケージ名	パッケージ名称
SUNWfrstm	Sun Management Center Storage Module - フランス語
SUNWjastm	Sun Management Center Storage Module - 日本語
SUNWkostm	Sun Management Center Storage Module - 韓国語
SUNWcstm	Sun Management Center Storage Module - 簡体字中国語
SUNWhstm	Sun Management Center Storage Module - 繁体字中国語

『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』の「**Sun Management Center** のインストール後の作業」

『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』のインストール後の作業の節には、esadm セキュリティグループの説明として、esadm では、メンバーがサーバコンテキストにトップレベルのドメインを作成し、これらのドメインの他の Sun Management Center ユーザに特権を割当てられると説明しています。しかし、esadm セキュリティグループがこのような特権をメンバーに与えることはありません。したがって、esadm ユーザがトップレベルのドメインを作成し、ドメイン内の他のユーザに特権を割当ててすることはできません。

『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』の「**T3 デバイス構成情報の削除 (存在する場合)**」

「Sun Management Center をアップグレードおよびインストールするためのシステムの準備」の章にある「T3 デバイス構成情報の削除 (存在する場合)」の節タイトルが変更されています。また、手順についても変更されています。新しい手順は次の通りです。

**T3 ストレージデバイスのアンインストール**

Sun Management Center 3.5 を実行している場合は、次の機能のいずれかを実行する場合に限り、Sun Management Center 3.5 から T3 デバイス構成を削除する必要があります。

- T3 ストレージデバイスを削除する。
- T3 ストレージデバイスを別のマシンに移動する。
- 別の IP または Ethernet アドレスを T3 ストレージデバイスに割当てて。
- Sun Management Center サーバを別のマシンに移行する。
- Monitoring and Management of A5x00 and T3 Devices アドオン製品をアンインストールする。

- Sun Management Center 3.5 をアンインストールする。

---

注 – T3 デバイス構成を削除せずに、Monitoring and Management of A5x00 and T3 Devices アドオン製品をアンインストールした場合は次の手順に従います。

---

## ▼ T3 デバイス構成を削除する

1. **Monitoring and Management of A5x00 and T3 Devices** アドオン製品がインストールされているマシンに **root** でログインします。
2. コマンド **/opt/SUNWsymon/es-stop -a** を実行して **Sun Management Center** エージェントを停止します。
3. **pre-uninstall** スクリプトを実行して **T3** デバイス構成の情報を削除します。
  - a. コマンド **/opt/SUNWsymon/addons/storage/sbin/pre-uninst.sh** を実行します。
  - b. **T3** による **syslog** メッセージの送信を停止するか確認するメッセージが表示されたら、**y** を入力します。
  - c. 続いて、**T3** デバイスの **root** (スーパーユーザ) パスワードの入力を求めるメッセージが表示されます。パスワードを入力します。  
T3 デバイスが T3 モジュールから削除されたことを伝えるメッセージが表示されます。
4. アドオン製品をアンインストールします。  
詳細は、『*Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド*』の「**es-guiuninst** を使用して Sun Management Center 3.5 をアンインストールする方法」を参照してください。

### 『*Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド*』の「**Sun StorEdge A5x00** パッチ」

「Sun Management Center をアップグレードおよびインストールするためのシステムの準備」の章で説明されている Sun StorEdge™ A5x00 パッケージのタイトルと説明が正しくありません。正しいタイトルは「*Sun StorEdge A5x00* パッケージ」です。

Sun StorEdge A5x00 パッケージの正しい説明は次の通りです。

Sun StorEdge A5x00 モジュールを使用したい場合は、Monitoring and Management of A5x00 and T3 Devices アドオン製品をインストールするシステムに SUNWluxop パッケージと SUNWluxox パッケージをインストールする必要があります。A5x00 モジュールを読み込んでも、これらのパッケージがシステムにインストールされていない場合は、Sun Management Center エージェントは動作しません。

これらのパッケージがインストールされているどうかを確認するには、次のコマンドを入力します。

```
# pkginfo SUNWluxop SUNWluxox
```

パッケージがインストールされていれば、次のメッセージが表示されます。

```
system SUNWluxop Sun Enterprise Network Array firmware and utilities
system SUNWluxox Sun Enterprise Network Array libraries (64-bit)
```

これらのパッケージのどちらかが必要な場合は、<http://sunsolve.sun.com> からダウンロードできます。ダウンロードする場合は、必ず最新バージョンをダウンロードしてください。ダウンロードしたら、`pkgadd(1M)` コマンドを使ってパッケージをインストールします。

『*Sun Management Center Hardware Diagnostic Suite 2.0 ユーザーガイド*』の英語のヘルプファイル名

『*Sun Management Center Hardware Diagnostic Suite 2.0 ユーザーガイド*』の第2章では、英語ヘルプファイルのパッケージ名が `SUNWedh` になっていますが、これは正しくありません。正しいパッケージ名は `SUNWenedh` です。

各ロケールのヘルプファイルとプロパティファイルは次の通りです。

- 英語: `SUNWenedh`、`SUNWenedp`
- 簡体字中国語: `SUNWcedh`、`SUNWcedp`
- 繁体字中国語: `SUNWhedh`、`SUNWhedp`
- フランス語: `SUNWfredh`、`SUNWfredp`
- 日本語: `SUNWjaedh`、`SUNWjaedp`
- 韓国語: `SUNWkoedh`、`SUNWkoedp`

『*Sun Management Center 3.5 VSP High-End Entry サーバー (ワークグループサーバー) のための追補マニュアル*』の「各言語対応パッケージのインストールの準備」

『*Sun Management Center 3.5 VSP High-End Entry サーバー (ワークグループサーバー) のための追補マニュアル*』の12ページには、新しい地域対応パッケージのインストールに関して『*Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド*』の情報を参照する旨の記述がありますが、これは正しくありません。

『*Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド*』には、新しい地域対応パッケージのインストールに関する情報は記載されていません。『*Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド*』の正しい情報を参照するテキストは次の通りです。

インストール時に、オンラインヘルプファイルとサポートファイルに対して追加言語を選択できます。

『Sun Management Center 3.5 ワークステーションのための追補マニュアル』の「各言語対応パッケージの更新」

『Sun Management Center 3.5 ワークステーションのための追補マニュアル』の9ページには、新しい地域対応パッケージのインストールに関して『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』の情報を参照する旨の記述がありますが、これは正しくありません。

『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』には、新しい地域対応パッケージのインストールに関する情報は記載されていません。『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』の正しい情報を参照するテキストは次の通りです。

インストール時に、オンラインヘルプファイルとサポートファイルに対して追加言語を選択できます。

関係するマニュアル: 日本語、フランス語、韓国語、簡体字中国語、繁体字中国語用の各補足マニュアルは **PDF** ファイル形式のみ

Sun Management Center 3.5 の日本語 (ja)、フランス語 (fr)、韓国語 (ko)、簡体字中国語 (zh)、繁体字中国語 (zh\_tw) 用の各追補マニュアルは PDF ファイル形式のみで提供されます。日本語版タイトルは下記のとおりです。

- Sun Management Center 3.5 Netra サーバーのための追補マニュアル
- Sun Fire Link ソフトウェアインストールマニュアル
- Sun Management Center 3.5 VSP High-End Entry サーバー (ワークグループサーバー) のための追補マニュアル
- Sun Management Center 3.5 ワークステーションのための追補マニュアル
- Sun Management Center 3.5 Sun Fire 15K/12K システムのための追補マニュアル
- Sun Management Center 3.5 Starfire サーバーのための追補マニュアル
- Sun Management Center 3.5 Sun Enterprise 6500/5500/4500/3500 システムのための追補マニュアル
- Sun Management Center 3.5 Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システムのための追補マニュアル

『Sun Management Center 3.5 Netra サーバーのための追補マニュアル』の第1章次の表に、『Sun Management Center 3.5 Netra サーバーのための追補マニュアル』の第1章から除かれた地域対応パッケージを示します。

表 3-6 地域対応パッケージの概要

言語	パッケージ
フランス語	SUNWfesna
	SUNWfesni
	SUNWfesns
日本語	SUNWjesna
	SUNWjesni
	SUNWjesns
韓国語	SUNWkesna
	SUNWkesni
	SUNWkesns
簡体字中国語	SUNWcesna
	SUNWcesni
	SUNWcesns
繁体字中国語	SUNWhesna
	SUNWhesni
	SUNWhesns

注 - これらのパッケージをインストールする場合、pkgadd コマンドは使用しないでください。かわりに、『Sun Management Center 3.5 Netra サーバーのための追補マニュアル』で説明されているように、インストールスクリプトを使用してください。

『Sun Management Center 3.5 Sun Fire 15K/12K システムのための追補マニュアル』の「**CLI**によるソフトウェアのアンインストール」

『Sun Management Center 3.5 Sun Fire 15K/12K システムのための追補マニュアル』の「CLIによるソフトウェアのアンインストール」セクションの冒頭に、`./es-setup -F` コマンドを再実行してプラットフォームエージェントをセットアップする必要がある旨の記述がありますが、これは正しくありません。つまり、この手順を行う必要はありません。

『Sun Fire Link Fabric Administrator's Guide』の「**Sun Fire Link Administration Overview**」

第1章の「Sun Fire Link Administration Overview」セクションの終わりの部分に、下記に示す「Guidelines for Configuring Clusters With Sun Fire Link 1.1 Software」節があるべきですが、脱落しています。Sun Fire Link (SFL) 1.1 ソフトウェアを使ってクラスタを構成する際には、この追加情報を理解し、遵守することが重要です。



## Sun Fire Link 1.1 ソフトウェアを使ってクラスタを構成する際の指針

### ■ クラスタ構成の管理

クラスタ構成を一貫した方法で行なってください。たとえば、Sun Management Center 3.5 グラフィカルユーザインタフェース (GUI) を使ってクラスタを構成したら、そのクラスタの構成に後で変更を加える場合にも、GUI を使用する必要があります。つまり、GUI を使って作成したクラスタの構成データを変更する場合には、Fabric Manager のコマンド行インタフェース (CLI) を使用しないでください。

同じように、最初に Fabric Manager CLI を使って構成したクラスタの内容を変更する場合は、同じインタフェースを使用する必要があります。これによって、クラスタが存在する間は、リンクマッピングの一貫性が保たれます。

---

注 - クラスタの状態を監視する場合は、Sun Management Center 3.5 GUI でも、Fabric Manager CLI でも使用できます。クラスタをどちらの方法で構成したかは関係ありません。

---

### ■ Extended Markup Language (XML) ファイルを使って複数の変更をファブリックに適用すると、「同期していない」データが生成されることがある

XML ファイルを使って複数の構成変更を既存のファブリックに適用する場合、XML ファイルにエラーがあると、再構成エラーになります。この問題の原因は、1 つまたは複数のノードのデータが新しい構成と同期していないことにある場合があります。さらに、新しい構成に必要なハードウェアコンポーネントが再構成時に正常でない場合にも、この問題が起ります。

これらのノードの構成の一貫性を取り戻す方法は 2 つあります。

- XML ファイルにエラーがある場合は、ファイルを編集してエラーを訂正してから、このファイルを使ってファブリックを再構成します。ハードウェアコンポーネントが正常でない場合は、コンポーネントを交換してから、XML ファイルを使ってファブリックを再構成します。
- エラーを引き起こす部分を XML ファイルから削除し、このファイルを使ってファブリックを再構成します。

どちらの場合でも、正しい XML ファイルと正常なハードウェアを使用して再構成を行えば、再構成エラーに起因するデータの不一致は修正されます。

### ■ 混在型のクラスタでは Sun Fire Link 1.1 ソフトウェアをファブリックマネージャサーバとすべてのノードにインストールする必要がある

Sun Fire 6800 システムと Sun Fire 15K/12K システムからなるクラスタを構成する場合は、Sun Fire Link 1.1 ソフトウェアを FM サーバだけでなく、クラスタのすべてのノードにインストールする必要があります。Sun Fire 6800 ノードと Sun Fire 15K/12K ノードを両方とも含むクラスタは、Sun Fire Link 1.0 ソフトウェアではサポートされません。

『Sun Fire Link Fabric Administrator's Guide』の付録 B 「Importing Preconfigured XML Files Using the Manage XML Configurations Option」 (4841740)

下記の手順は、Manage XML Configurations オプションを使って、事前に構成された XML ファイルをインポートする方法を詳しく述べたものです。『Sun Fire Link Fabric Administrator's Guide』の付録 B には、この説明が足りません。

Sun Management Center コンソールの「ファブリックの詳細」ウィンドウには、「XML 構成の管理」というメニューオプションが含まれています。このオプションを使用すれば、XML ファイルを開いて編集したり、このファイルの構成情報を未構成のファブリックに適用したりすることができます。

---

注 - 未構成のファブリックとは作成および起動はされているファブリックで、メンバーデータ (コンピュータノード名称など) がまだ指定されていないファブリックを指します。

---

XML ファイルを開き、編集する場合、このファイルが未構成ファブリックと関連付けられていなくてもかまいません。ただし、このファイルを使ってファブリックを構成する場合には、このファブリックがあらかじめ作成、起動されていなければなりません。

次の手順は、XML 構成の管理オプションの使い方を述べたものです。

1. XML 構成の管理オプションを使用する前に、Fabric Manager (FM) CLI コマンドの `createfabric` と `startfabric` を使ってファブリックの作成と起動を行う必要があります。

---

注 - 次の FM コマンドを実行するためには、スーパーユーザでなければなりません。

---

```
# cd /opt/SUNWwcfm/bin
# ./createfabric fabric-name
# ./startfabric fabric-name
```

2. Sun Management Center コンソールを使って、ファブリックの FM エージェントモジュールを読み込みます。この手順の詳しい説明については、『Sun Fire Link Fabric Administrator's Guide』の「Loading FM Agent Modules」を参照してください。
3. 「ファブリックの詳細」ウィンドウのファブリックアイコンにカーソルを合わせ、ボタン 3 を押します。表示されたポップアップメニューから「XML 構成の管理」オプションを選択するか、「ファブリックメニュー」のアイテム「XML 構成の管理」を選択します。

この時点で次のエラーメッセージが誤って表示されます。

FM 情報値を取得します

このエラーメッセージは、無視してください。

4. 「エラー」ダイアログウィンドウの「了解」ボタンをクリックします。  
「了解」ボタンをクリックすると、「エラー」ウィンドウが閉じて、「XML 構成」ダイアログボックスがアクティブウィンドウになります。
5. 「構成」ダイアログウィンドウの「対象ディレクトリ」フィールドに、インポートしたい XML 構成ファイルが含まれているディレクトリの完全なパスを入力し、Return キーを押します。  
指定したディレクトリに含まれているスクロール可能なファイルの一覧がウィンドウに表示されます。
6. インポートする XML 構成ファイルを選択します。選択したファイル名が「ファイル名」フィールドに表示されます。

---

注 - 手順 5 で Return キーを押してから、手順 6 で、必要な XML ファイルを選択してください。ファイルを選択せずに「ファイル名」フィールドにファイル名を手動で指定することはしないでください。ファイル名を手動で指定すると、ファイルを開くことができなくなります。

---

7. 「開く」ボタンをクリックしてこのファイルを開きます。  
ウィンドウのテキスト領域に XML 構成ファイルの内容が表示されます。
8. 次のオプションのどれか 1 つを選択します。
  - XML ファイルを編集します。XML ファイル構成や Document Type Definition (DTD) の個々の情報については、『*Sun Fire Link Fabric Administrator's Guide*』の付録 B と C を参照してください。
  - XML 情報を使ってファブリックを構成する場合は、次の手順に進みます。
  - 変更を新しい XML ファイルとして保存する場合は、「保存」ボタンをクリックし、新しいファイル名を入力します。
9. 「構成」ボタンをクリックして、XML ファイルの内容をファブリックに適用します。

詳細については、24 ページの「XML 構成の管理オプションを使って XML ファイルを新規のファブリックに適用すると、誤ったエラーメッセージが表示される (4855354)」を参照してください。

『*Sun Fire Link* ソフトウェアインストールマニュアル』の「**Sun Management Center 3.0 Platform Update 4 から Sun Management Center 3.5 へのアップグレード**」

『*Sun Fire Link* ソフトウェアインストールマニュアル』の 7 ページの手順 3a と 3b を次のように変更する必要があります。

- 手順 3a - 次の文章に変更してください。

すべてのノードからすべての RSM プロキシパッケージを削除します。

- 手順 3b – 次の文章に変更してください。

Sun Fire Link Manager サーバからすべての FM パッケージを削除します。

```
SFLM-server-name# pkgrm SUNWwcfmu SUNWwcfmr SUNWwcfms WUNWwccmn
```

### 『Sun Fire Link ソフトウェアインストールマニュアル』の「Sun Management Center 3.0 Platform Update 4 から Sun Management Center 3.5 へのアップグレード」

『Sun Fire Link ソフトウェアインストールマニュアル』の 5 ページの説明は、Sun Fire Link Manager サーバと Sun Management Center サーバが同じサーバであることを想定した説明です。別のサーバでアップグレードを行う場合の説明は、これとは多少異なる場合があります。

Sun Management Center サーバと Sun Fire Link (Fabric Manager) サーバが別の場合と、Sun Management Center と Fabric Manager (FM) が同じサーバにある場合のアップグレードの主な違いは次の通りです。

- Sun Management Center サーバと FM サーバが別の場合は、Sun Fire Link アドオンパッケージをそれぞれのサーバにインストールする必要があります。
- Sun Management Center サーバと FM サーバが別の場合、Sun Management Center サーバコンポーネントを Sun Management Center サーバに、Sun Management Center エージェントコンポーネントを FM サーバにそれぞれインストールする必要があります。

別のサーバでアップグレードを行う場合の手順は、次の通りです。

1. Sun Management Center サーバにインストールする必要があるオプションの Sun Fire Link アドオンコンポーネントは、Sun Fire Link Server と Sun Fire Link Console だけです(例 3-1 を参照)。

例 3-1 Sun Management Center サーバの Sun Fire Link アドオンコンポーネント  
インストールしたい製品を選択してください:

...

```
Sun Fire Link (y|n|q) y
この製品には次のオプションコンポーネントがあります:
Sun Fire Link Server
インストールするパッケージを選択してください。 (y|n|q) y
Sun Fire Link Manager
インストールするパッケージを選択してください。 (y|n|q) n
Sun Fire Link Switch
インストールするパッケージを選択してください。 (y|n|q) n
Sun Fire Link Cluster Node
インストールするパッケージを選択してください。 (y|n|q) n
Sun Fire Link Console
インストールするパッケージを選択してください。 (y|n|q) y
```

2. FM サーバにインストールする必要があるオプションの Sun Fire Link アドオンコンポーネントは、Sun Fire Link Manager と Sun Fire Link Switch だけです(例 3-2 を参照)。

**例 3-2 Fabric Manager サーバの Sun Fire Link アドオンコンポーネント**

インストールしたい製品を選択してください:

```
...
Sun Fire Link (y|n|q) y
この製品には次のオプションコンポーネントがあります:
Sun Fire Link Manager
インストールするパッケージを選択してください。 (y|n|q) y
Sun Fire Link Switch
インストールするパッケージを選択してください。 (y|n|q) y
Sun Fire Link Cluster Node
インストールするパッケージを選択してください。 (y|n|q) n
```

3. Sun Management Center サーバでのインストール時の正しい応答は次の例を参照してください。

**例 3-3 Sun Management Center サーバのコンポーネント**

インストールしたい Sun Management Center のコンポーネントを選択してください:

```
3 つのコンポーネントが選択可能です:
Server コンポーネントをインストールしますか? (y|n|q) y
注: エージェントコンポーネントは自動的にインストールされます。
Console コンポーネントをインストールしますか? (y|n|q) y
```

4. FM サーバでのインストール時の正しい応答は次の例を参照してください。

**例 3-4 Fabric Manager サーバのコンポーネント**

インストールしたい Sun Management Center のコンポーネントを選択してください:

```
3 つのコンポーネントが選択可能です:
Server コンポーネントをインストールしますか? (y|n|q) n
Agent コンポーネントをインストールしますか? (y|n|q) y
Console コンポーネントをインストールしますか? (y|n|q) n
```

『Sun Fire Link ソフトウェアインストールマニュアル』の「**Sun Fire Link** ソフトウェアの 1.0 から 1.1 へのアップグレード方法」

『Sun Fire Link ソフトウェアインストールマニュアル』の 5 ページと 75 ページにある「Sun Fire Link ソフトウェアの 1.0 から 1.1 へのアップグレード方法」の手順 2 を次の手順 2 と 3 に変更してください。

- 手順 2 – 個々のクラスタノードから Remote Shared Memory (RSM) パッケージを削除します。

```
# pkgrm SUNWrsmpr SUNWrsmpr SUNWwcfms
```

- 手順 3 – FM サーバから Fabric Manager (FM) パッケージを削除します。

# pkgrpm SUNWwcfmu SUNWwcfmr SUNWwcfms SUNWccmn

『Sun Fire Link ソフトウェアインストールマニュアル』の表 3-1 の「**Sun Management Center** および **Sun Fire Link** パッケージのインストール先」

『Sun Fire Link ソフトウェアインストールマニュアル』の 32 から 33 ページにある表 3-1 の Sun Management Center および Sun Fire Link パッケージの「インストール先」に含まれているエントリは正しくありません。これらのエントリを次のように変更してください。

- Sun Fire Link Manager サーバと FM Host は同じです。
- パッケージ SUNWwcfms は RSM ドメインにも置かれます。Sun Management Center サーバには必要ありません。
- パッケージ SUNWwcfmr と SUNWwcfmu は、Sun Fire Link Manager サーバ (FM Host) に置かれます。Sun Management Center サーバには必要ありません。

『Sun Fire Link ソフトウェアインストールマニュアル』の「**Sun Management Center 3.5** のセットアップウィザードによる **Sun Fire Link** 追加ソフトウェアの設定」

36 ページの 2 文目と 3 文目を下記に読み替えてください。

Sun Fire Link アドオンコンポーネントは次のとおりです。

- Sun Fire Link Manager (Fabric Manager)
- Sun Fire Link クラスタノード
- Sun Fire Link コンソール
- Sun Fire Link スイッチ、FM、RSM エージェント
- Sun Fire Link サーバ

『Sun Fire Link ソフトウェアインストールマニュアル』の付録 A 「**CLI** を使用した **Sun Management Center 3.5** ソフトウェアのインストール、設定、アンインストール」

74 ページの 2 段落目と 3 段落目を下記に読み替えてください。

さまざまなシステムに以下のアドオンコンポーネントをインストールする必要があります。

- Sun Fire Link Manager (Fabric Manager)
- Sun Fire Link クラスタノード
- Sun Fire Link コンソール
- Sun Fire Link スイッチ、FM、RSM エージェント
- Sun Fire Link サーバ

『Sun Fire Link ソフトウェアインストールマニュアル』の「**Sun Fire Link** 用エージェント更新イメージの作成」

『Sun Fire Link ソフトウェアインストールマニュアル』の「Sun Fire Link 用エージェント更新イメージの作成」節の 2 つめのパラグラフ (62 ページ) にある Sun Management Center 3.5 の制約に関する情報は正しくありません。

この Sun Management Center 3.5 の制約はすでに適用されません。単一コンポーネントを選択する場合には、コンポーネントセットアップの質問はされません。

『Sun Fire Link ソフトウェアインストールマニュアル』、『Sun Management 3.5 Sun Fire 15K/12K システムのための追補マニュアル』、『Sun Management Center 3.5 Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システムのための追補マニュアル』、『Sun Management Center 3.5 Starfire サーバーのための追補マニュアル』、『Sun Management Center 3.5 Sun Enterprise 6500/5500/4500/3500 システムのための追補マニュアル』の「**Sun Management Center 3.5** ソフトウェアのアンインストール」

Sun Management Center 3.5 GUI のアンインストールウィザード `es-guiuninst` でも、CLI のアンインストールスクリプト `es-uninst` でも、次のソフトウェアをアンインストールすることができます。

- すべての Sun Management Center ソフトウェア
- 特定のアドオンソフトウェア

以下の追補マニュアルの「Sun Management Center 3.5 ソフトウェアのアンインストール」節で「アドオンモジュール」のアンインストールに言及している場合は、「アドオン製品」に変更してください。

- 『Sun Fire Link ソフトウェアインストールマニュアル』
- 『Sun Management Center 3.5 Sun Fire 15K/12K システムのための追補マニュアル』
- 『Sun Management Center 3.5 Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システムのための追補マニュアル』
- 『Sun Management Center 3.5 Starfire サーバーのための追補マニュアル』
- 『Sun Management Center 3.5 Sun Enterprise 6500/5500/4500/3500 システムのための追補マニュアル』

Sun Fire Link など個々のアドオン製品を個別にアンインストールすることはできますが、Sun Fire Link FM Agent モジュールや Sun Fire Link Switch Agent モジュールなど、追加製品を構成する個々のモジュールを個別にアンインストールすることはできません。

GUI アンインストールウィザード `es-guiuninst` を使用するための詳しい説明とオプションについては、『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』の付録 A 「Sun Management Center 3.5 のアンインストール」を参照してください。

CLI アンインストールスクリプト `es-uninst` を使用するための詳しい説明とオプションについては、『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』の付録 B を参照してください。

